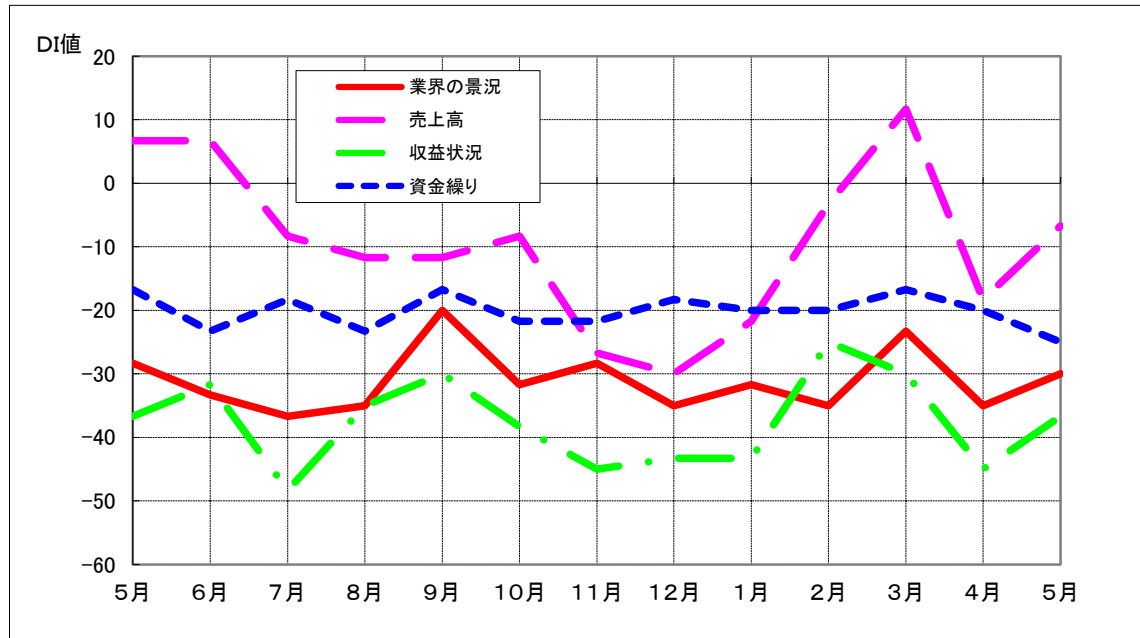


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和4年5月～令和5年5月

単位:ポイント



	R4					R5									
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
業界の景況	-28.3	-33.3	-36.7	-35.0	-20.0	-31.7	-28.3	-35.0	-31.7	-35.0	-23.3	-35.0	-30.0		
売上高	6.7	6.7	-8.3	-11.7	-11.7	-8.3	-26.7	-30.0	-21.7	-3.3	11.7	-18.3	-6.7		
収益状況	-36.7	-31.7	-48.3	-35.0	-30.0	-38.3	-45.0	-43.3	-43.3	-25.0	-30.0	-45.0	-36.7		
資金繰り	-16.7	-23.3	-18.3	-23.3	-16.7	-21.7	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-25.0		

5月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目悪化となった。「業界の景況」DI値は5.0ポイント改善のマイナス30.0ポイント、「売上高」DI値は11.6ポイント改善のマイナス6.7ポイント、「収益状況」DI値は8.3ポイント改善のマイナス36.7ポイント、「資金繰り」DI値は5.0ポイント悪化のマイナス25.0ポイントとなった。

前年同月比でみると、1項目不変、3項目悪化となった。「業界の景況」DI値は1.7ポイント悪化、「売上高」DI値は13.4ポイント悪化、「収益状況」DI値は±0、「資金繰り」DI値は8.3ポイント悪化となった。

製造業においては、引き続き、原材料や電気料、燃料費等の高止まりや高騰により収益が悪化しているとの報告が多い。価格転嫁に関しては、発注者の転嫁のスピードが遅い、転嫁の交渉が難航しているなどの報告がある。また、製材業や作業工具製造業などの業種では物価上昇による買い控えなどによる消費の落ち込みの影響を受けている。

非製造業においては、新型コロナウイルス感染症の第5類移行を受け、人流は戻り始めているもののまだ慎重行動が目立ち、今後に期待する声がある。一方で業種を問わず人手不足により、需要に応えられず、売上高の上昇が見込めないとの報告があり、全体を通じた課題となっている。